



●いつも元気! 福井の下水道●

ふくい管路協ニュース

第18号
平成27年7月1日号

発行者: 公益社団法人福井県下水道管路維持協会 Fukui Sewer Collection System Maintenance Association
事務局/〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805

「施設整備の時代から管理運営の時代へ」

福井県土木部河川課

課長 岩 崎 等

公益社団法人福井県下水道管路維持協会の皆様におかれましては、日頃から下水道機能の維持管理にご尽力いただき厚くお礼申し上げます。

水は生命の源であり、絶えず地球上を循環しながら、人々の生活を支え、潤いを与えるとともに、産業や文化の発展の基礎となる、代わりを求めることのできない重要な資源です。

この貴重な水の循環の一端を支えているのが、下水道です。

下水道は、人々の生活や経済活動により排出される汚水を浄化して自然に還元し、衛生的で快適な生活環境や経済活動を支えるとともに、河川、湖沼、海洋等の水環境を保全しています。また、都市部の雨を速やかに排除・貯留することにより、人々の生命・財産を守っています。今や下水道は、人々の生命や生活、経済活動、水環境、地球環境にとって必要不可欠であり、もっとも基幹的なインフラ（社会資本）であることは間違いありません。

さて、福井県の汚水処理人口普及率は平成25年度末で92.7%となり、これは全国10位の普及率であり、下水道管路の整備延長は5千キロメートルを超えました。このうち、これから20年後に建設後50年を超える下水道管路は県全体で約8百キロメートルに上り、急速に老朽化が進んでいくことから、下水道は施設整備の時代から管理運営の時代へと移行し、また少子高齢化の進展や大規模災害へのリスク増大といった社会情勢の変化のなか、下水道の役割も時代とともに重要性が増しています。

このような背景の元、新たな時代に向けた様々な課題を解決するため、本年5月に下水道法が一部改正されました。今回の改正内容は、下水道の排水能力を超える局地的な集中豪雨等により市街地での浸水被害が多発していることや下水道施設の老朽化が進むなか、適切な管理による下水道機能の維持が必要であることなどに対応するためのものであり、◇多発する浸水被害への対応を図るためのソフト・ハード両面からの対策 ◇管路等の施設の維持修繕基準の創設 ◇地方公共団体の人手不足に対する支援メニューの強化 ◇再生可能エネルギーの活用促進としての熱利用に係る規制緩和の4つの改正ポイントがあげられています。

我々下水道関係者は、こうした下水道を取り巻く環境の変化を理解し、その使命を再認識することが必要です。さらに、下水道使用者の方々に、下水道の役割やポテンシャル、経営状況、実態等をわかりやすく伝え、汚水の排出者としての責務を理解していただき、共感・行動してもらえよう、下水道の「見える化」、 「他人ゴトから自分ゴト化」を進めるとともに、次世代の下水道技術者の育成につなげていくことが重要となっています。

このように、下水道が取り組むべき課題が山積するなか、下水道を管理する自治体職員は減少しており、維持管理の主たる財源となる下水道使用料収入も十分ではありません。今後、官民一体となって取り組む体制が求められており、ますます、貴協会の協力が必要となります。会員の皆様方には、そのための技術力の向上と経験の蓄積にも努めていただきますようお願いいたします。

結びに、貴協会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げまして、あいさついたします。

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会
創立20周年記念式典開催

開催日 平成26年9月2日(火) ユアーズホテルフクイ 13:30~17:00
ご来賓 福井県知事 西川 一誠 様
福井市長 東村 新一 様
記念演奏会 津軽三味線 佐藤流宗子
重造会 佐藤 壽治 様
記念講演 (公社)日本下水道管路管理業協会
専務理事 酒井 憲司 様
特別講演 東京大学生産技術研究所
教授 桑野 玲子 様



創立20周年を迎えて

創立20周年を迎えるに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

日本でもっとも早くできた近代下水道・県都福井市の合流式下水道から始まり、現在の県内管路延長は公共下水道+農業集落排水等を含めると5,300kmに及ぶ膨大な延長の管路資産が県内に埋設されています。県民が安心して利用することができるための維持管理団体の為に当協会を創立致しました。民間団体として平成6年に設立され、事業として、下水管路の延命のための新技術の取得・専門技術者の育成・官民一体となつての維持管理の研修会・災害の支援・先進地の維持管視察研修・等を事業主体に発足したものであります。以来社団法人協会に平成11年下水道の維持管理の重要性が認められ特別業種扱いで認可されました。その後法人改革による公益性の団体として県下で最も早く、平成23年に公益社団法人の認可を頂きました。減災や県民が安全で安心した生活を守る為に当協会の存在が認知されたものと感じています。又、笹子トンネル事故のような事故がないように、老朽化対策、超寿命化対策等計画的な維持管理計画が重要で、発生主義から予防主義に移行することがクローズUPしてきており、新しい管理方式『包括的民間委託管理』に対応する資質と技術能力向上に協会員が一丸となつて研修努力を行っているところであります。管路の維持管理は、建設業にない技術資格や設備が必要であり、しかも訓練された技術者がいなければ出来ない仕事であり、災害の支援等は当協会にしか出来ないと自負しているところであります。

協会は当初11会員で出発し、現在正会員16社・賛助会員8社の24社に発展成長いたしております。技術資格におきましても全会員が下水道事業団認定管路施設技術者を保有し、清掃・調査・改築更新にいたるまでの設備も保有し、名実ともに下水道管路総合病院としての役目を果たしているものであると考えております。又、近い将来には下水道維持管理の業種認定も出来ると推察いたしております。

ここまでこれましたのも、下水道関係者各位や公共団体関係者・協会員のご支援ご指導のお蔭であります。改めて厚く御礼申し上げる次第であります。公益協会団体として県民の安心安全の為に、更に研鑽を積み最善の努力を行い、公益の使命を全うしてまいりたいと考えております。

関係各位のより一層のご指導、ご鞭撻をお願いし創立20周年のご挨拶とお礼とさせていただきます。

平成26年9月2日
公益社団法人 福井県下水道管路維持協会
会長 酒井 典 康

大野市座談会

開催日：平成26年11月11日（火）
会場：大野市下水処理センター会議室

民生環境部 上下水道課
課長 大久保 雅 章

大野市は、日本百名山のひとつ「荒島岳」などの山々があり、名水百選の「御清水」をはじめ多くの湧き水があることから国土庁の「水の郷百選」にも選ばれるなど豊かな自然に恵まれており、市民の“水”に対する関心も高い地域です。

公共下水道事業を進める際には、下水管路からの汚水漏水による地下水の汚染が懸念されましたが、昭和45年から建設委員会を立上げ、色々な角度から協議、検討し平成8年に事業着手してきました。公共下水道事業は、市街地中心部の全体計画で目標年次を平成42年、計画面積899.0ha、計画人口20,200人、計画汚水量13,000m³/日で設定し、現在は第4期事業認可計画について整備をしている段階です。また、農村部では、農業集落排水事業で平成3年1月に使用開始した阿難祖地区をはじめ15処理区、計画人口10,920人で整備、人家のまばらな周辺部は合併浄化槽により整備をしている段階です。

現状での整備状況は、下水管路延長で公共下水道が約110km、農業集落排水が104kmで総延長214kmです。汚水処理人口普及率は、平成24年度末現在74.3%です。内訳は、公共下水道が31.6%、農業集落排水が20.3%、合併浄化槽が22.5%となっており、県平均の92.1%より低い状況であり面整備に予算を配分しています。

地下水の豊富な街であるため、多くの家庭では地下水を利用しています。上水道メーターに加え、地下水利用者には井戸にメーターを設置して管理しています。使用量と処理施設での流入量はほぼ等しいことから公共下水道においての不明水はないものと考えています。その要因としては、管路の完成検査時にテレビカメラを導入し施工の状態を確認していることや、市が採用している管材が平成7年1月に発生した「阪神淡路大地震」の教訓を生かし開発されたマンホールや管接合部が改良されているためです。

最後に、建設時の技術職員の減少や国土交通省が進める延命化、老朽対策強化と諸施策が聞こえている中で、大野市としての今後の下水道事業は面整備による普及率の向上を図りつつ、将来的展望から長寿命化や包括民間委託も視野に入れながら下水道事業に取り組んでまいりたいと考えています。

災害支援「調査・応急復旧」実務研修会

開催日 平成27年2月19日（木）
場 所 アオッサ 607号研修室
協 賛 福井県土木部河川課 後援 福井県下水道協会
ご来賓 福井県土木部河川課長 岩崎 等 様
福井市下水道部長 前川 孝 様
公益社団法人 日本下水道管路管理業協会 常務理事 篠田 康弘 様
パネラー 福井県土木部河川課 敦賀市役所
鯖江市役所 五領川公共下水道事務組合
17市、町の公共団体技術者
総数 53名の方の出席をいただきました。

講 演 日本下水道管路管理業協会 常務理事 篠田康弘様から
「東日本大震災の調査支援からの反省と課題」と題しての講演

パネルディスカッション方式

- ・各公共団体の下水道管路に対するマニュアルの発表
- ・下水道の災害対策本部はどこに設置されるかについて
- ・下水道台帳の保管場所について
- ・支援実務作業と問題について
- ・調査提出様式と清算支払の関係について
- ・その他
 - ①包括民営化の状況について
 - ②管理技術資格の現状について
 - ③企業会計の移行について



第31回通常総会の開催

議案審議

- 第1号議案 平成27年度事業計画（案）の承認の件
- 第2号議案 平成27年度収支予算（案）の承認の件



事業の実施方針

近年多発する地震・水害などの自然災害、災害は予告なしに発生し、住民環境が阻害され住民にとって重要なライフラインである下水道管路施設も多大な被害がおきているなか、専門特殊技術企業集団、公益社団法人として更なる新技術取得及びPR活動をおこなうと共に、老朽管路の延命化、維持管理の重要性を訴える活動を事業の実施方針として可決されたことをご報告いたします。

第32回通常総会の開催

議案審議

- 第1号議案 平成26年度事業報告の件
- 第2号議案 平成26年度財産目録、貸借対照表、
正味財産増減計算書承認の件及び監査報告

以上の議案が、原案の通り可決されたことをご報告いたします。

第3号議案 役員改選の件

事務局より選考委員が選出され審議の結果

理事 ㈱トミックス、新保興業㈱、㈱クオードコーポレーション、東洋地工㈱、㈱キープクリーン、
西村建設㈱、丹南開発㈱

監事 成和建设㈱、野村会計 以上9名に決定

新理事間にて会長、副会長の互選が審議され、酒井会長、山岸副会長、土田副会長が再任されたことをご報告いたします。



協会よりの提言

下水道が建設の時代から維持管理の時代へと移行し、管路を始めとする下水道施設の老朽化対策が喫緊の課題となっているのではないのでしょうか。

管路の老朽化は陥没事故など二次災害を引き起こす要因ともなり、更に、不明水による処理費の増大等の悪影響も無視できないのではないのでしょうか。また、大規模の事故が発生して、下水道機能が停止した時の住民への影響の大きさを想像してみることも必要ではないかと思えます。下水道が使えなければ、飲料水は確保されたとしても、風呂、トイレ、洗濯、炊事など家庭を支える機能が停止してしまいます。そのうえ、全国の自治体で下水道管路等の施設の老朽化対策が思ったように進んでいないように思われます。

厳しい財政状況、下水道料金の適正化、更には近い将来専門技術者の不足と言う理由で、つけが回らねばと思うものです。何か起こればその時に対応すればよいと言う甘い意識が大きな課題であると考えています。その良い例が平成24年12月に起きた笹子トンネルの天井崩壊事故ではないのでしょうか。

急速に老朽化が進む下水道、見えない下水道に関係者の気配りを期待するものであります。

忘れられている下水道、臭い汚いからの脱出、下水道による病原菌の除去、公共用水域の浄化等重要なライフラインであることの重要性を、今年度より協会の重要事業として「下水道出前授業の開催」に取り組んでまいります。今後とも関係者のご支援、ご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会 会員名簿

正 会 員

(50音順)

No.	会 社 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	株式会社キープクリーン	〒910-0006	福井市中央1丁目19-21	0776-27-0586	0776-22-0586
2	株式会社クォードコーポレーション	〒918-8151	福井市中荒井町5-5	0776-38-3806	0776-38-6284
3	新保興業株式会社	〒914-0812	敦賀市昭和町1-18-26	0770-22-1243	0770-24-0102
4	株式会社成和建設	〒910-0855	福井市西方2丁目18-36	0776-23-0807	0776-23-6895
5	株式会社ダイエイ	〒915-0876	越前市白崎町73-1-3	0778-24-4624	0778-24-4626
6	大北久保建設株式会社	〒911-0033	勝山市栄町2-7-6	0779-87-1580	0779-87-3148
7	丹南開発株式会社	〒916-0146	丹生郡越前町朝日5-17-1	0778-34-2334	0778-34-2674
8	テラオライテック株式会社	〒915-0806	越前市本保町8-5-1	0778-22-5215	0778-22-4100
9	東洋地工株式会社	〒910-0806	福井市高木町4-10-2	0776-53-5335	0776-53-5336
10	株式会社トミックス	〒916-0005	鯖江市杉本町813番地	0778-51-1321	0778-52-2961
11	株式会社ニシデ・コンストラクション	〒918-8078	福井市更毛町11-22	0776-34-0474	0776-34-3092
12	西村建設株式会社	〒910-0122	福井市石盛町816番地	0776-56-2822	0776-56-2823
13	株式会社ミルタニ工業	〒910-0844	福井市長本町202番地	0776-53-5671	0776-53-5695
14	嶺南建設株式会社	〒914-0802	敦賀市呉竹町2丁目12-24	0770-25-6333	0770-23-5580
15	鷺吉建設株式会社	〒910-0102	福井市川合鷺塚町38-8-4	0776-55-0463	0776-55-0669

賛 助 会 員

No.	会 社 名	郵便番号	住 所	電話番号	F A X 番号
1	エスジーシー下水道センター株式会社	〒160-0008	東京都新宿区三栄町19番地大久保ビル2階	03-3355-3951	03-3355-3796
2	F R P 内面補修工法協会	〒160-0004	東京都新宿区四谷2丁目10-3	03-3355-1525	03-3355-5786
3	クリスタルライニング工法協会	〒467-0806	名古屋市瑞穂区瑞穂通8丁目9-1	052-918-2555	052-918-2556
4	株式会社サンワコン 水研事業部	〒918-8525	福井市花堂北1丁目7番25号	0776-36-2790	0776-36-3300
5	積水化学工業株式会社	〒530-8565	大阪府大阪市北区西天満2-4-4堂島関電ビル	06-6365-4532	06-6365-4388
6	日本スナックロック協会	〒160-0004	東京都新宿区四谷2丁目10-3 TMSビル	03-3355-3851	03-3355-3852
7	光硬化工法協会	〒160-0004	東京都新宿区四谷2丁目10-3 TMSビル	03-5367-5173	03-3355-5786
8	ペンタフ株式会社	〒531-0076	大阪府大阪市北区大淀中1丁目7-10	06-6458-1231	06-6458-1221
9	丸一調査設計株式会社	〒910-0841	福井市開発町第20号6番地	0776-52-8408	0776-52-8413



公益社団法人福井県下水道管路維持協会
Fukui Sewer Collection System Maintenance Association
 事務局 / 〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805